

4 区の情報発信のあり方

-
- (1) 区に関する情報の入手手段
 - (2) 区が発信する必要がある情報
 - (3) 必要な時に必要とする区の情報入手状況
 - (4) 区の情報得られない理由
 - (5) 区の情報得られない理由の詳細
 - (6) 「お問い合わせコールあだち」の利用状況
-

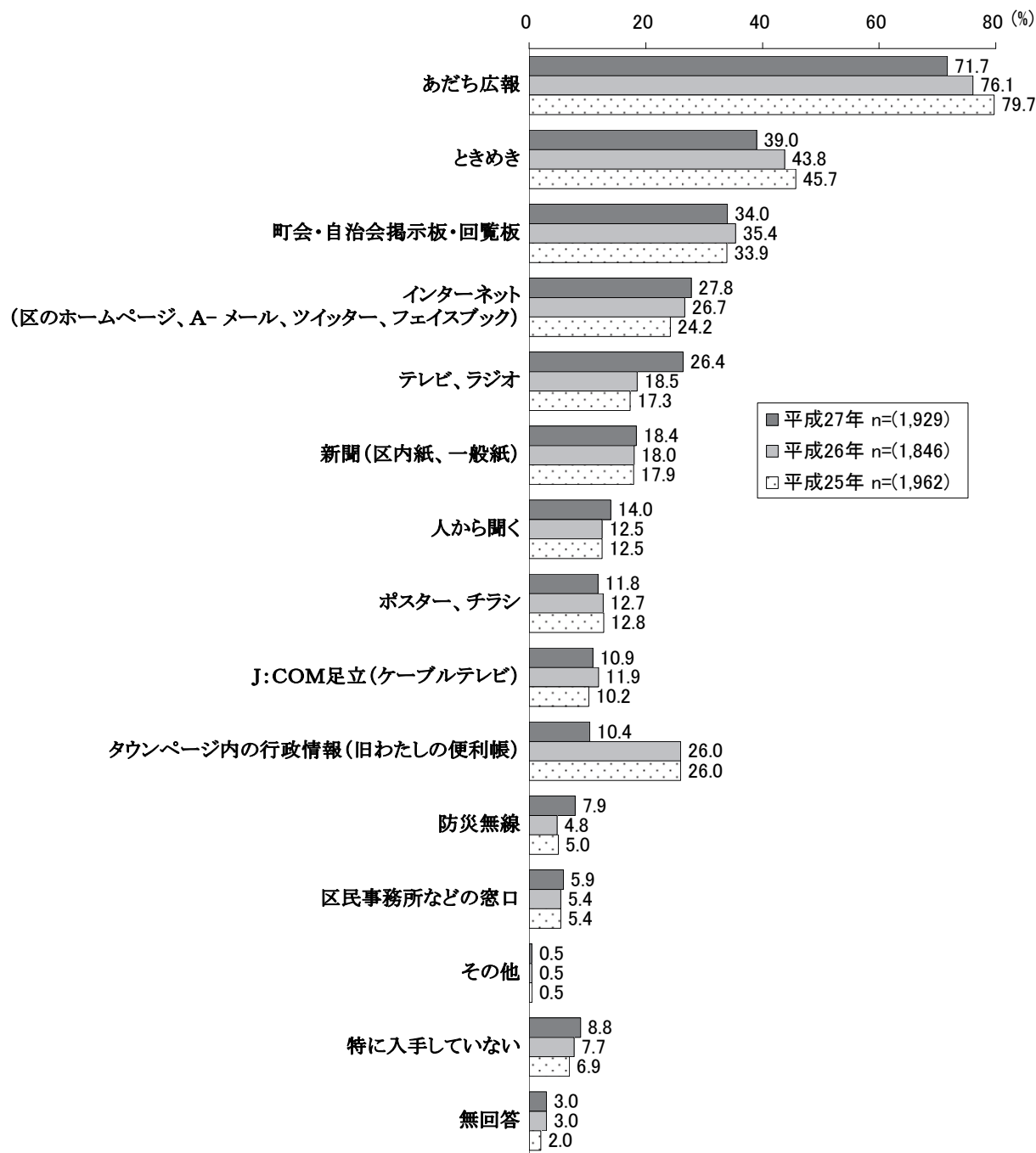
4. 区の情報発信のあり方

(1) 区に関する情報の入手手段

■ 「あだち広報」が7割強、「ときめき」が4割弱も、ともに減少傾向

問13 あなたは、足立区に関する情報をどのような手段で入手していますか（○はあてはまるものすべて）。

図4-1-1 経年比較／区に関する情報の入手手段



※「タウンページ内の行政情報(旧わたしの便利帳)」は、26年度まで「あだちわたしの便利帳」。

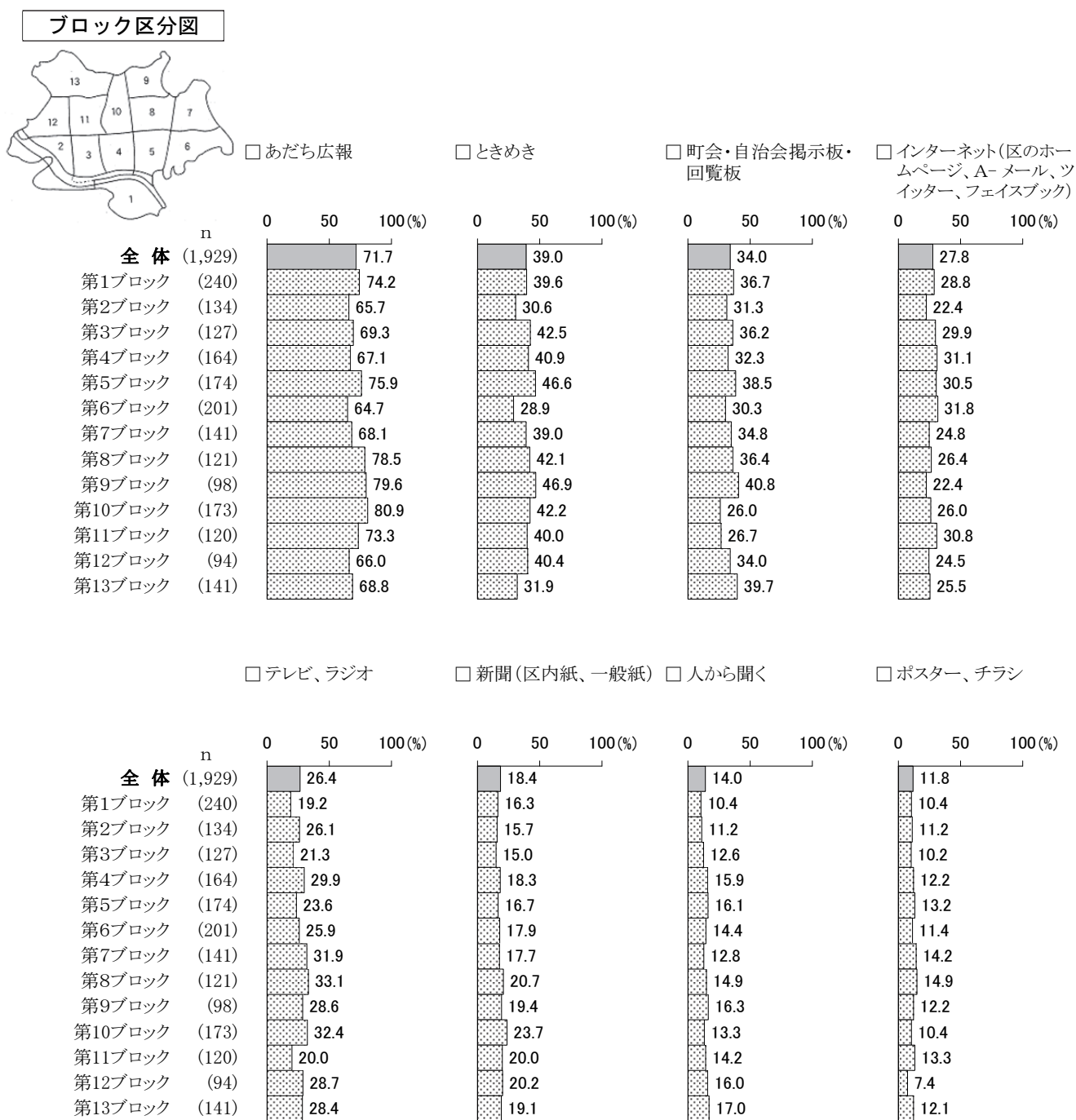
第3章 調査結果の分析

足立区に関する情報の入手媒体としては、「あだち広報」が71.7%で最も高く、以下「ときめき」（39.0%）、「町会・自治会掲示板・回覧板」（34.0%）の順となっている。

経年でみると、「あだち広報」は、今回71.7%と、平成26年の76.1%から4.4ポイント減少している。

地域ブロック別で見ると、すべてのブロックで「あだち広報」は高くなっている。また、「ときめき」については、第5ブロック、第9ブロックで、それぞれ46.6%、46.9%と、4割台半ばを超えている。「町会・自治会掲示板・回覧板」は、第5ブロック、第9ブロック、第13ブロックで、4割前後を占め、他のブロックよりやや高くなっている。

図4-1-2 地域ブロック別／区に関する情報の入手手段／上位8項目



第3章 調査結果の分析

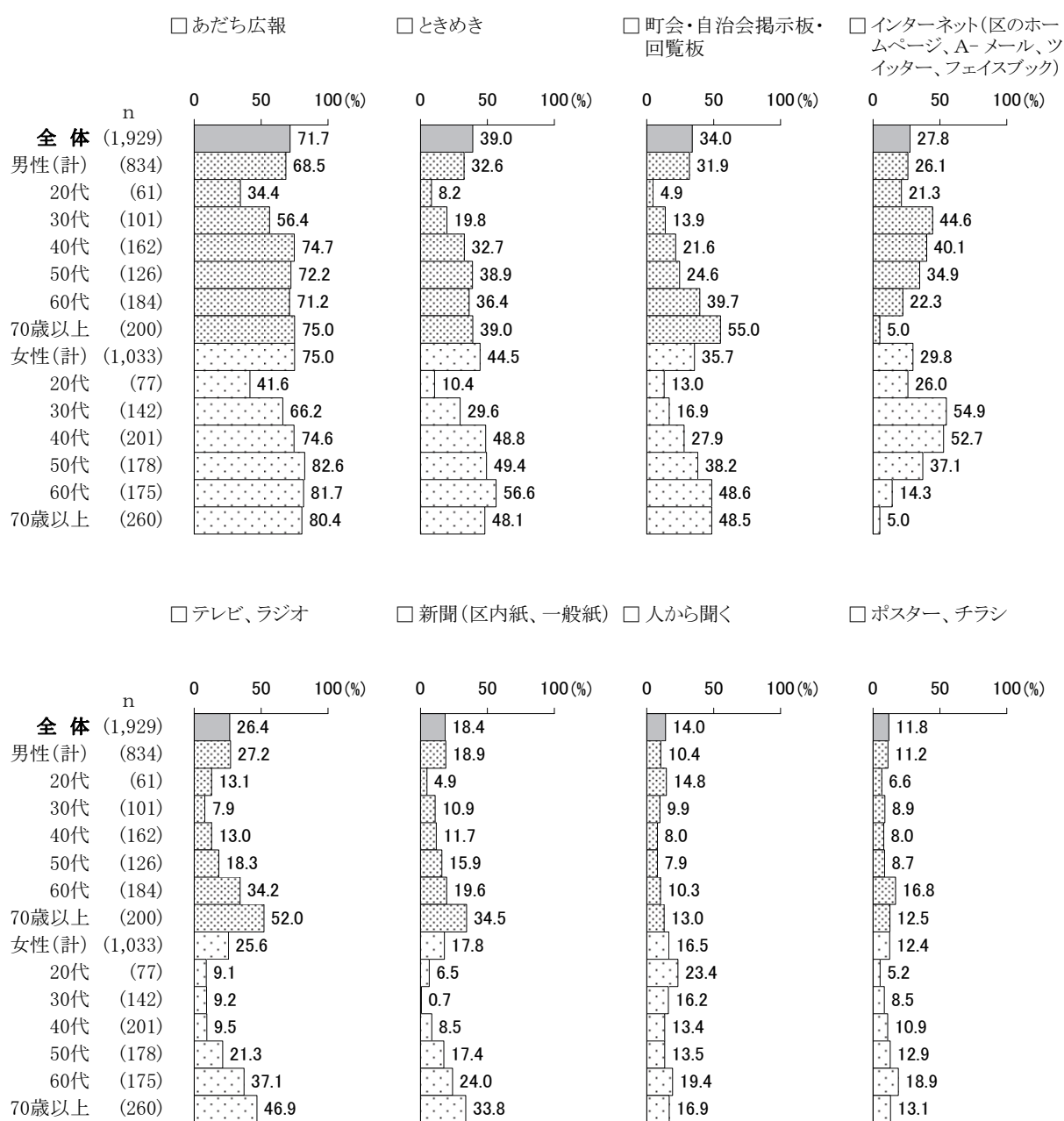
性別でみると、「あだち広報」は、男性68.5%、女性75.0%、「ときめき」は男性32.6%、女性44.5%と、いずれも男性より女性が高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、40代から70歳以上で「あだち広報」が、いずれも7割を超えている。また、「ときめき」についても、この年代では3割を超えている。

女性の場合、「あだち広報」は加齢とともに増加し、「ときめき」についても60代までは増加傾向を示している。

また、「インターネット」については、男性の30代から40代で4割以上、女性の30代から40代で5割以上と、他の年代より高くなっている。

図4-1-3 性別、性・年代別／区に関する情報の入手手段／上位8項目

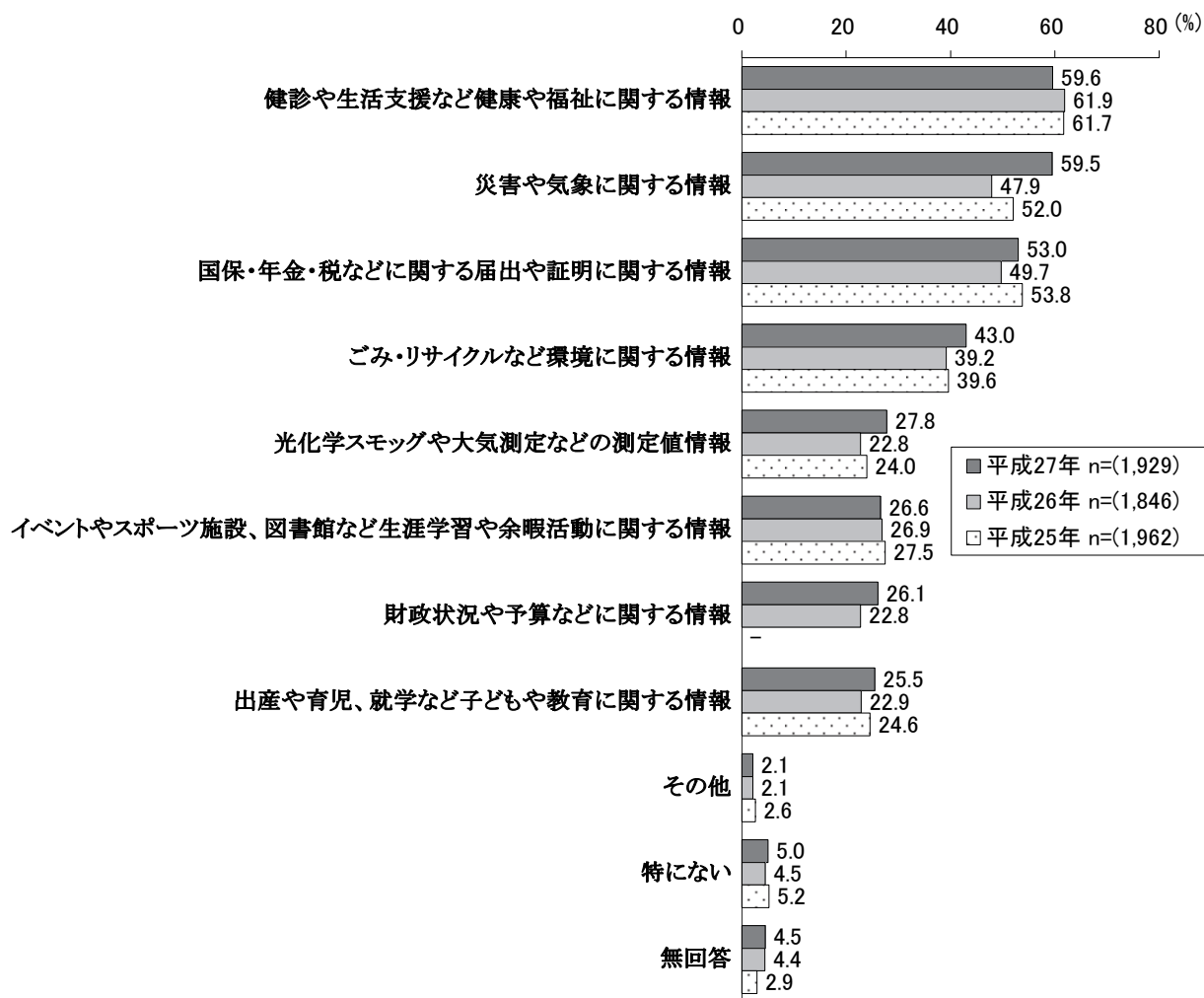


(2) 区が発信する必要がある情報

■ “健康や福祉” “災害や気象” が約6割

問14 あなたは、区が発信するどのような情報が必要だと思いますか（〇はあてはまるものすべて）。

図4-2-1 経年比較／区が発信する必要がある情報



※「財政状況や予算などに関する情報」は、26年度新設。

必要とする区の情報としては、「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」が59.6%で最も高く、以下「災害や気象に関する情報」（59.5%）「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」（53.0%）の順が続いている。

経年でみると、「災害や気象に関する情報」は、今回59.5%と、平成26年の47.9%から11.6ポイント上昇している。

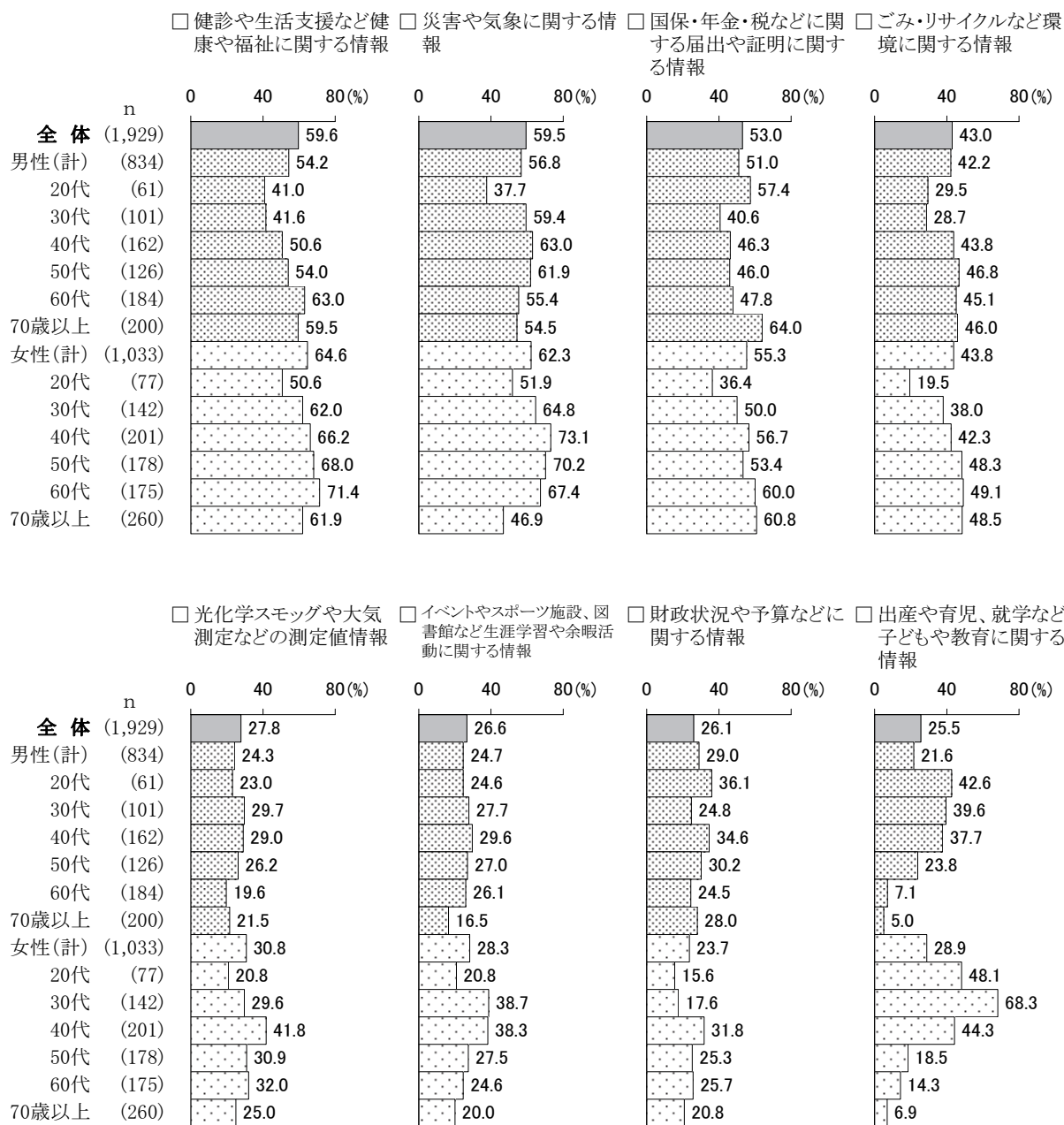
第3章 調査結果の分析

性別でみると、「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」は男性54.2%、女性64.6%と男性より女性が高くなっている。

性・年代別でみると、男性では、「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」が、60代まで増加傾向を示し、60代では63.0%となっている。また、30代から50代では「災害や気象に関する情報」が6割前後と、他の年代より高くなっている。

女性では、40代、50代で「災害や気象に関する情報」が、それぞれ73.1%、70.2%と7割を超えている。また、「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」については、60代、70歳以上で、それぞれ60.0%、60.8%と6割を超えている。

図4-2-2 性別、性・年代別／区が発信する必要がある情報

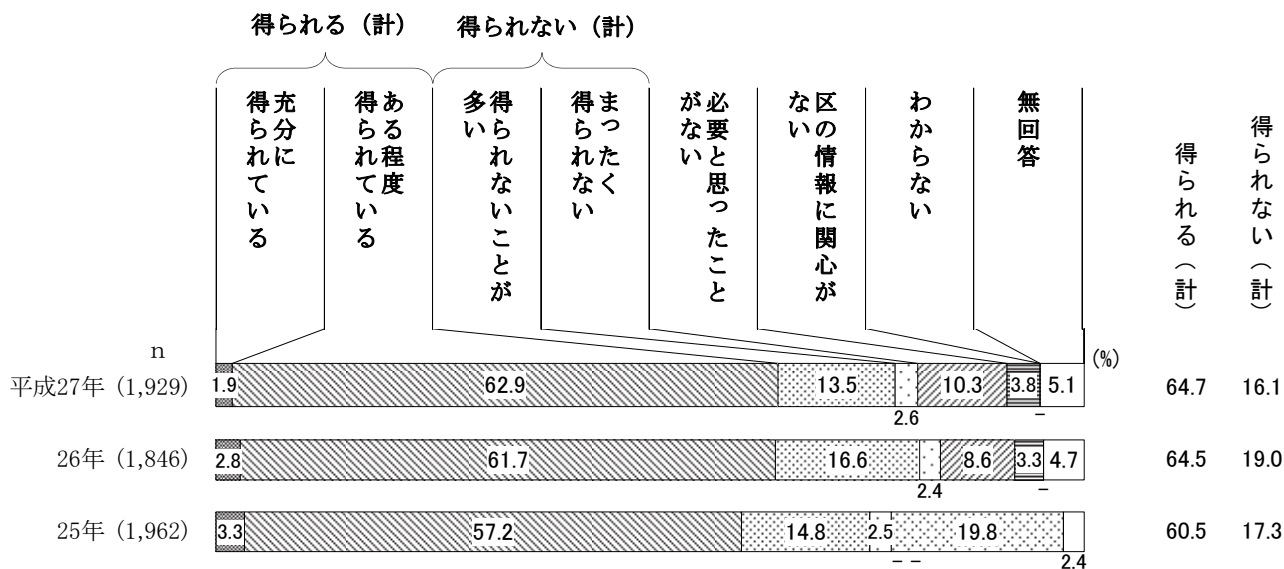


(3) 必要な時に必要とする区の情報の入手状況

■ 必要な時に【得られる】が6割台半ば

問15 あなたは、必要な時に必要とする区の情報を得られていますか（○は1つだけ）。

図4-3-1 経年比較／必要な時に必要とする区の情報の入手状況



※「必要と思ったことがない」「区の情報に関心がない」は、26年度新設。

※「わからない」は、26年度削除。

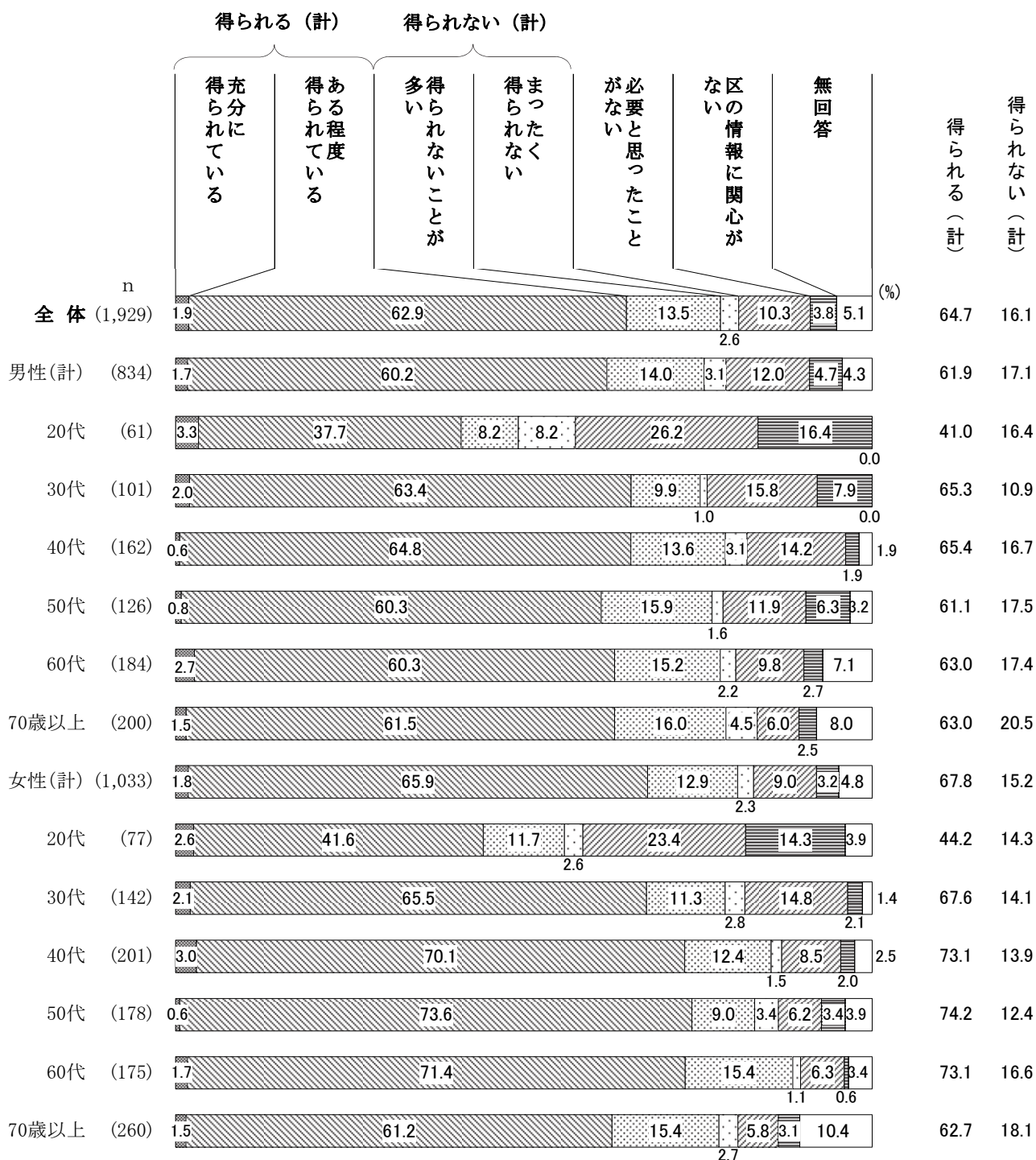
必要な時に必要とする情報を得られているかについては、「十分に得られている」が1.9%で、これに「ある程度得られている」の62.9%を合わせた【得られる】は64.7%となっている。一方、「得られないことが多い」は13.5%、「まったく得られない」は2.6%となっている。

経年でみると、【得られる】は平成26年64.5%、今回64.7%とほぼ横ばいとなっている。

第3章 調査結果の分析

性別でみると、【得られる】は男性61.9%、女性67.8%と、男性より女性が高くなっている。
 性・年代別でみると、男性では、20代を除く各年代で【得られる】が6割を超えている。
 女性では、40代から60代にかけて、【得られる】が7割を超えている。

図4-3-2 性別、性・年代別／必要な時に必要とする区の情報入手状況

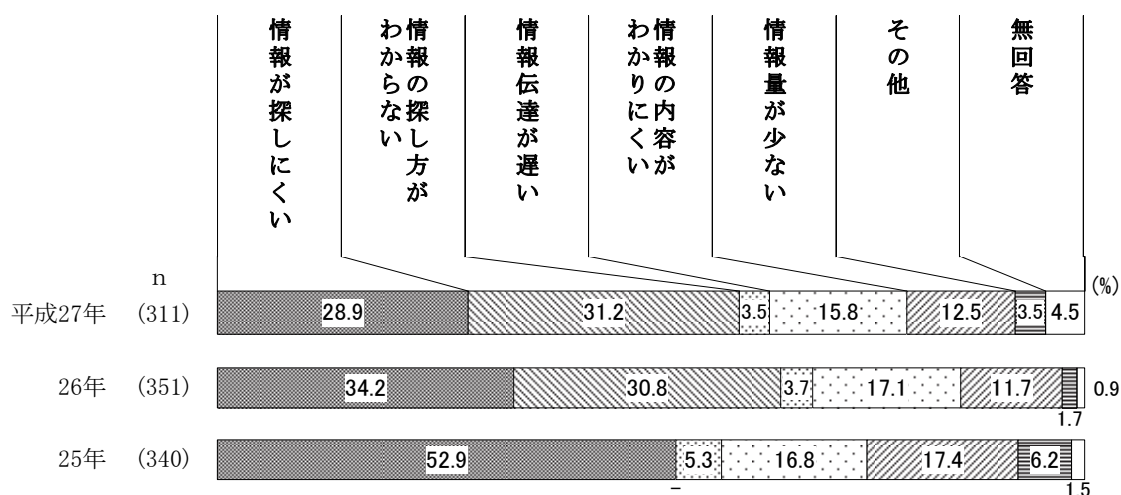


(4) 区の情報得られない理由

■ “探し方がわからない” “探しにくい” が3割前後

問15で「3. 得られないことが多い」、または「4. まったく得られない」とお答えの方に
問15-1 どのような理由からですか（〇は1つだけ）。

図4-4-1 経年比較／区の情報得られない理由

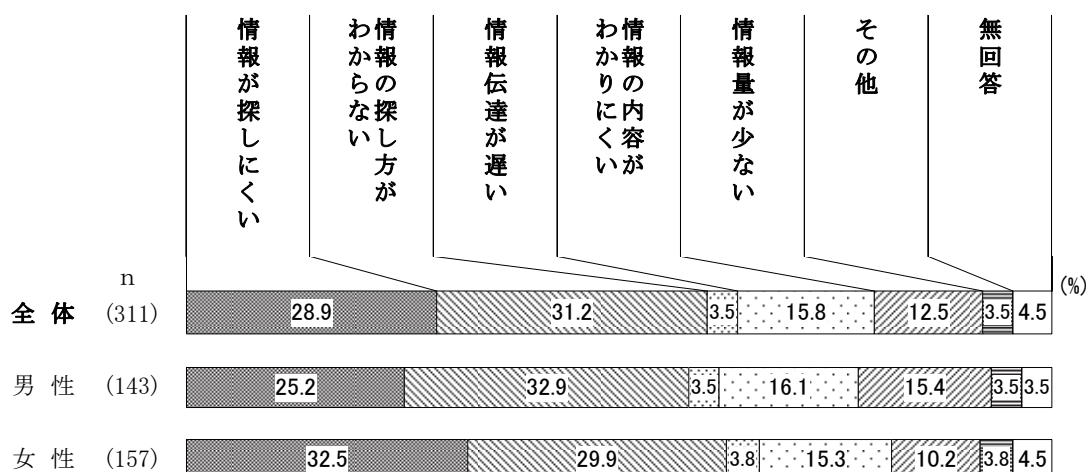


※「情報の探し方がわからない」は、26年度新設。

【得られない】という人に、その理由を聞いたところ、「情報の探し方がわからない」(31.2%)と「情報が探しにくい」(28.9%)の2項目が、いずれも3割前後占めて高くなっている。

性別でみると、「情報が探しにくい」は、男性25.2%、女性32.5%と、男性より女性が高くなっている。

図4-4-2 性別／区の情報得られない理由



(5) 区の情報得られない理由の詳細

問15で「3. 得られないことが多い」、または「4. まったく得られない」とお答えの方に
問15-2 問15-1の回答のように思われるのは、どうしてですか。理由をお書きください。

あだち広報 (94名、延べ101件の回答)	件数
読みづらい、わかりづらいから	29
よく読まない、読まないから	22
内容が少ない、薄いから	9
欲しい情報のタイミングが合わないから	6
いつ配布されたのか、わからないから	6
関心がないから	5
掲載場所とは関係がないから	4
回数が少ないから	4
時間がないから	3
その他	13

区ホームページ (87名、延べ90件の回答)	件数
探しにくい、わかりづらいから	25
パソコンを使わない、使えないから	22
見ない、あまり見ないから	12
インターネットネットを使用できる環境がないから	10
インターネットネットでは調べないから	5
その他	16

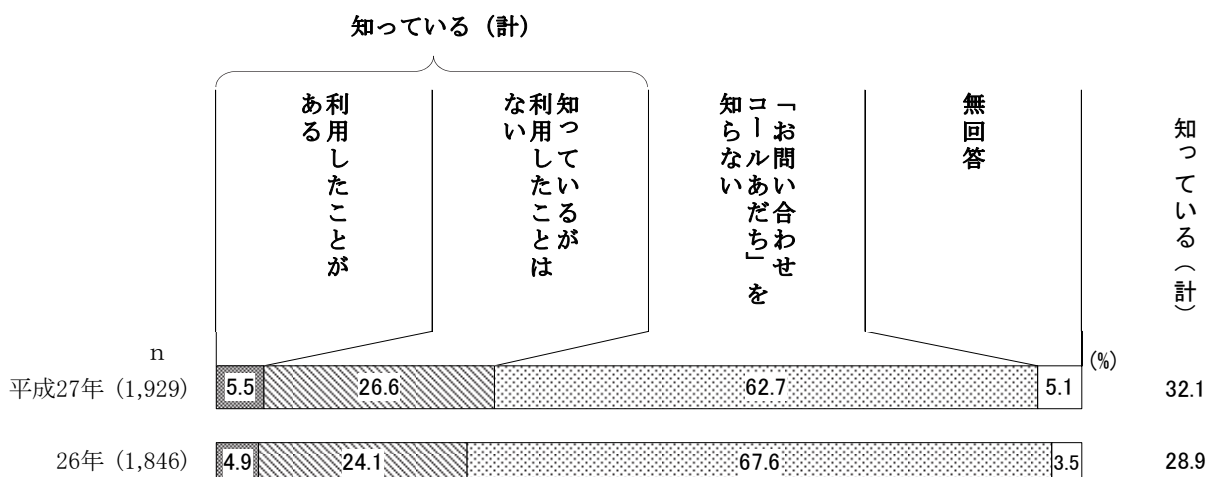
その他 (41名、延べ42件の回答)	件数
防災無線が聞き取りにくいから	6
よくわからないから	6
情報をみつけれられない、入手方法がわからないから	5
SNSやメールなどで発信してほしい	5
区の対応が充実してほしい	4
インターネットを使用できる環境がない、ないときがあるから	4
その他	12

(6)「お問い合わせコールあだち」の利用状況

■【知っている】が微増し、3割を超える

問16 あなたは、「お問い合わせコールあだち」を利用したことがありますか（○は1つだけ）。

図4-6-1 前回調査比較「お問い合わせコールあだち」の利用状況



『お問い合わせコールあだち』について、「利用したことがある」は5.5%で、これに「知っているが利用したことはない」(26.6%)を合わせた【知っている】は32.1%となっている。一方、「『お問い合わせコールあだち』を知らない」は62.7%を占めている。

前回結果と比較すると、【知っている】は今回32.1%と、前回の28.9%から3.2ポイント増加している。

第3章 調査結果の分析

性別で見ると、女性では【知っている】が36.8%と、男性（27.0%）より高くなっている。
 性・年代別で見ると、男性では、40代、70歳以上で【知っている】が、それぞれ29.0%、
 33.5%と、他の年代よりやや高くなっている。

女性では、30代から40代、60代から70歳以上で【知っている】が4割前後を占めている。

図4-6-2 性別、性・年代別／「お問い合わせコールあだち」の利用状況

